

● 市町村の基本情報

学校数	小学校1校 中学校1校		
地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		1人
	地域学校協働活動推進員		15人
	統括コーディネーター		0人
	地域コーディネーター		0人
CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小0校	中1校
	地域学校協働本部がカバーしている学校数	小1校	中1校



● 活動の実際

<学校支援ボランティアの活動>

1 学校応援ボランティア

(目的)

- ・学校の教育活動をより良くするために、小・中学校の要望にあわせて応援する。
- ・環境整備等に伴う教職員の負担軽減、PTA活動への協力、児童生徒の安全確保を補助する。

(活動内容)

- ・学校周辺の草刈りや簡易な修繕等環境整備
- ・夏休み中の花壇の水やり
- ・PTA活動への協力

2 文化・スポーツサークルボランティア

(目的)

- ・地域の人が行う文化活動、スポーツ活動へ児童生徒が参加することで地域の一員として考え行動する子どもの育成、ふるさと愛の持てる子ども育成を目指す。

(活動内容)

- 文化：軽音楽、囲碁将棋、地域伝統行事関連等
 スポーツ：卓球、軟式野球、ランニング、バドミントン等

(活動の流れ)

- ①学校より地域学校協働活動推進員へ支援内容の依頼
- ②募集メールを作成し、学校応援ボランティアに送信
- ③参加する学校応援ボランティアの情報を学校に報告
- ④参加する学校応援ボランティアに活動内容等を連絡

(活動の流れ)

- ①地域学校協働本部より学校を通じ、アンケートにより生徒の参加希望、内容を収集
- ②実施する内容により地域講師を募集、選定
- ③参加する生徒、地域講師の情報を学校に報告
- ④参加する地域講師に活動内容等を連絡

● コロナ禍での苦労・工夫

今年度から始まった地域学校協働活動は、学校臨時休業後の学校再開からスタートした。活動にあたっては衛生管理マニュアルにある地域ごとの行動基準を参考とし、学校における新しい生活様式の遵守に心掛けた。

● 成果と課題 (○成果、※課題)

- 学校やPTAからの要望を聞き、スムーズに連携することができた。
- 学校の先生が行っていた用務的な仕事を活動推進員が代わりに行うことで教員の多忙化解消の一助になった。
- ※地域学校協働活動への理解がまだ地域に浸透していないので、理解醸成に努める必要がある。

● 関係者の声

- ・環境美化作業は、児童生徒数、家庭数も減少している中でボランティア参加はたいへん助かった。(保護者)
- ・地域の人と一緒に運動することができ楽しかった。(生徒)
- ・ナイトサークルは、体育的な活動が多いので文化的な活動も行ってほしい。(生徒)
- ・子どもや先生方に豊根村の良さをもっと知ってもらいたい。(地域)